

烏山上町会

町会の概要

烏山上町会は戦後、10年程GHQの命令で活動停止になっていましたが、昭和31年に活動を再開しました。その頃、役所からの伝達は町会の回覧板が唯一だったので、町会加入率も多いものがありました。町会は、役所の意向を伝える機関として大事にされましたが、その伝達方法も区報が発行され、あらゆる機会に簡単に情報が手に入る事から、町会の必要性が薄れてゆくことになります。そうした事で、会員の減少は避けられず、高齢者のみで、町会の存続も危ぶまれています。

町会が、役所からの伝達のための役目しか見い出せないとしたら、町会はなくなってしまいます。町会は新たに、SNS、「いちのいち」やラインを使った伝達、ホームページを作り、こちら側からの発信を強めていきます。どのように町会が自ら変わっていけるかが、これからの町会につきつけられた問題です。

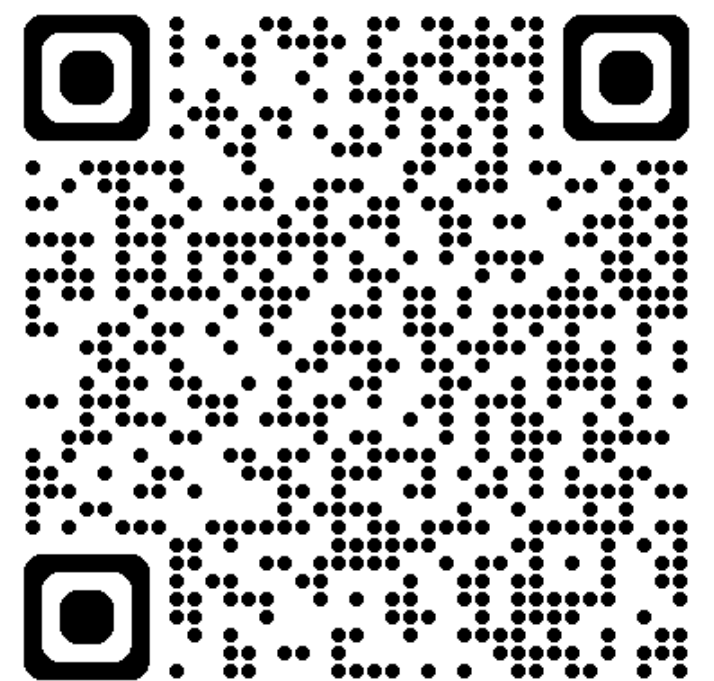


▲ 烏山上町会ホームページ

烏山上町会

烏山上町会のホームページでは、烏山上町会の活動報告や、防災についてなど、随時新しい情報を更新しています。ぜひ、ご覧ください。

■ 烏山上町会への入会については、ホームページからお申込みいただけます。



▲ ホームページはこちら

活動・取組みの内容

- ① 月1回の役員会を開催
- ② 身近なまちづくり、ゴミ減リサイクル、社協等への人員派遣
- ③ 町会員への福利厚生(日帰り旅行・食事会)
- ④ 役所のイベントに協力
- ⑤ 歌サークル:ピアノに合わせて歌います
- ⑥ 森繁映画を見る会:年3回、無料で映画上映
- ⑦ ギター教室:ギター講師を呼んで、週1回の練習
- ⑧ 町会内にあるオウム真理教の撤退に向けた反対運動
- ⑨ これから来る首都直下型地震に対応すべく、在宅避難をすすめる。



定例役員会



日帰り旅行



映画会



避難所運営訓練 炊き出し



避難所運営説明会



避難所運営訓練

からすやま地域の力を集める会

概要

烏山地域で活動するさまざまな地域活動団体やボランティアが協力し、ネットワークをつくることで、地域のコミュニティを豊かにし、安全安心なまちづくりを目指しています。

2010年に活動を開始し、現在7～8の「プロジェクト」が進行しています。月1回「定例会」を開催し、各活動の確認や団体同士の情報交換、イベントの方針などを検討しています。

防災冊子を作成したり、「からすやま夏まつり」での被災地支援コーナーの運営、「防災イベント」「自転車マナーアップイベント」などを行っています。誰でも参加できます。

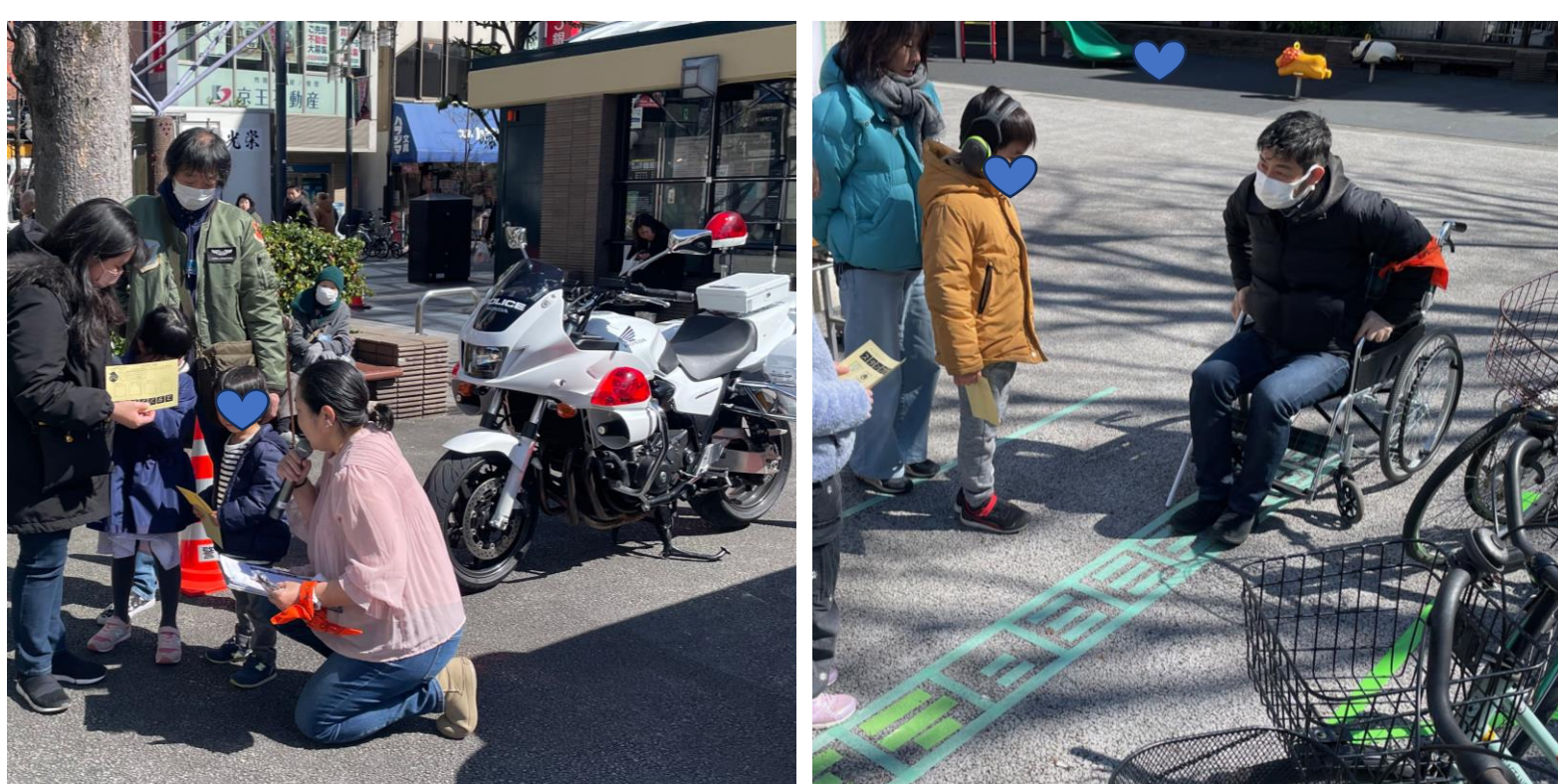
活動・取組みの内容



防災イベントでD型ポンプの体験に使った水を活用したドジョウつかみ大会



からすやま夏まつりでは「復興支援ブース」を担当



自転車のマナーアップイベントを実施



からびょん事業部



烏山UD映画祭

防災冊子「子どもを守るための防災マニュアル」(全6冊)を作成



南烏山2丁目みんなの庭の管理(はたけ部)



みんなのクリスマス音楽祭

鳥山ネット・わあ〜く・ショップ

はじまりの概要

できることから 実現したよ！



ホームページはこちら

《はじまりストーリー》

●「ありがとう」がきっかけに

1年目のワークショップで、まち歩きをしていた時のことです。

「雨のあと、ここに水がたまるのよね」
「排水溝が必要だね」と区民から話がありました。
区職員にもその場で確認したところ、まち歩き後すぐに、排水溝を整備してくれました。

区民は「自分の発言が実現するなんて」と驚き
区に感謝し、区職員は区民から感謝されたことに
感激しました。

小さな実現ですが、区民と区との間に信頼関係
が生まれ、一緒に知恵を出しあう気持ちが生れた
《できごと》でした。

●アフターフォローしよう！

良いスタートを切った活動ですが、できることは
実現しても、できないことは残されました。

2年目のある時、区民より「未解決問題を自分
たちでフォローしてはどうか？」との提案があり、
アフターフォロー活動を行いました。

3年目からは、アフターフォロー活動を定期的
に行う、月1回の定例会がはじまりました。
この定期的な活動が、現在まで続いています。



実現第1号の
記念すべき《排水溝》



●ワークショップ はじまる！

1999 年夏、世田谷区鳥山総合支所で庁内
検討委員会が立ち上がり、ユニバーサルデザ
インをテーマに住民参加のワークショップ＝
鳥山ネット・わあ〜く・ショップ（通称：鳥
山ネット）がはじまりました。

第 1 回目のワークショップが開催されたの
は、1999 年 11 月 27 日（土）でした。

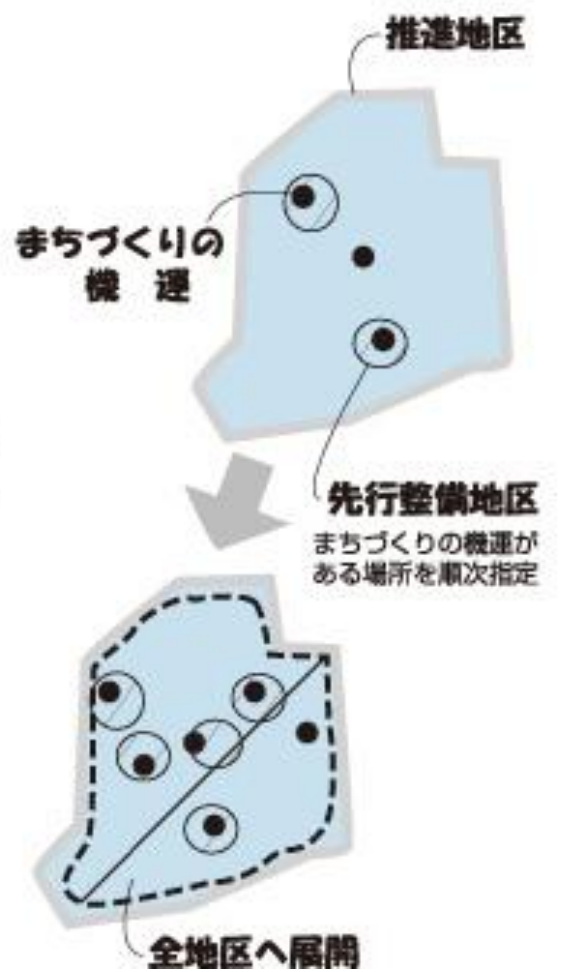
●できることから実現しよう！

鳥山ネットのモットーは「できることから
実現しよう！」です。まちづくりが進みそう
な地域で毎年ワークショップを継続する「し
くみ」をつくりました※1

広範囲を対象にした「計画づくり」は実現
までに時間がかかり、「できていない」ことが
クローズアップされてしまいます。

そこで、実現する可能性の高い場所をより
良くすることをねらいとしました。

※1
『世田谷区福祉のいえ・まち推進条例』に基づく「福祉的環境整備推進地区」整備計画



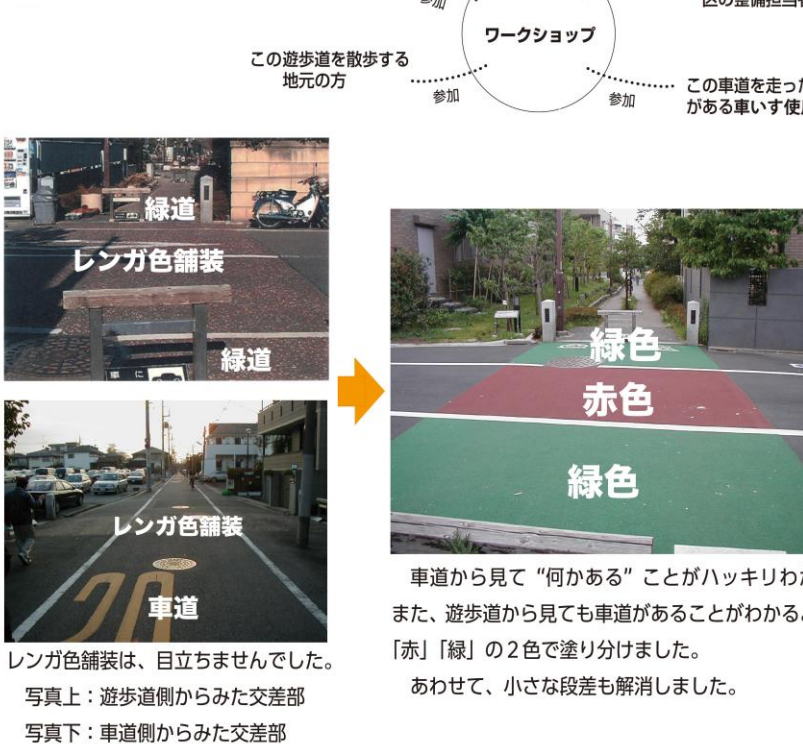
活動・取組みの内容

車道と遊歩道の交差点は危険【H12~13】

■きっかけ

遊歩道と車道の交差点部分に、レンガ色の舗装がありました。しかし、レンガ色は目立たず、車からみた時、遊歩道との交差点とはわかりにくい状態でした。
ある日、「安全面を考えた改修をしたい」と区担当者が相談にきました。「横断歩道が欲しいところだが、すぐ近くにあるので新設は難しい」とのこと。
子どもたちと散歩をする保育士さんから「遊歩道が連続して見えると、子どもは遊歩道が続いていると思って、飛び出す危険がある」との意見が出ました。
そこで、「歩く人からも、車からも、“何かある”と気づく整備をしては？」というアイデアが出ました。

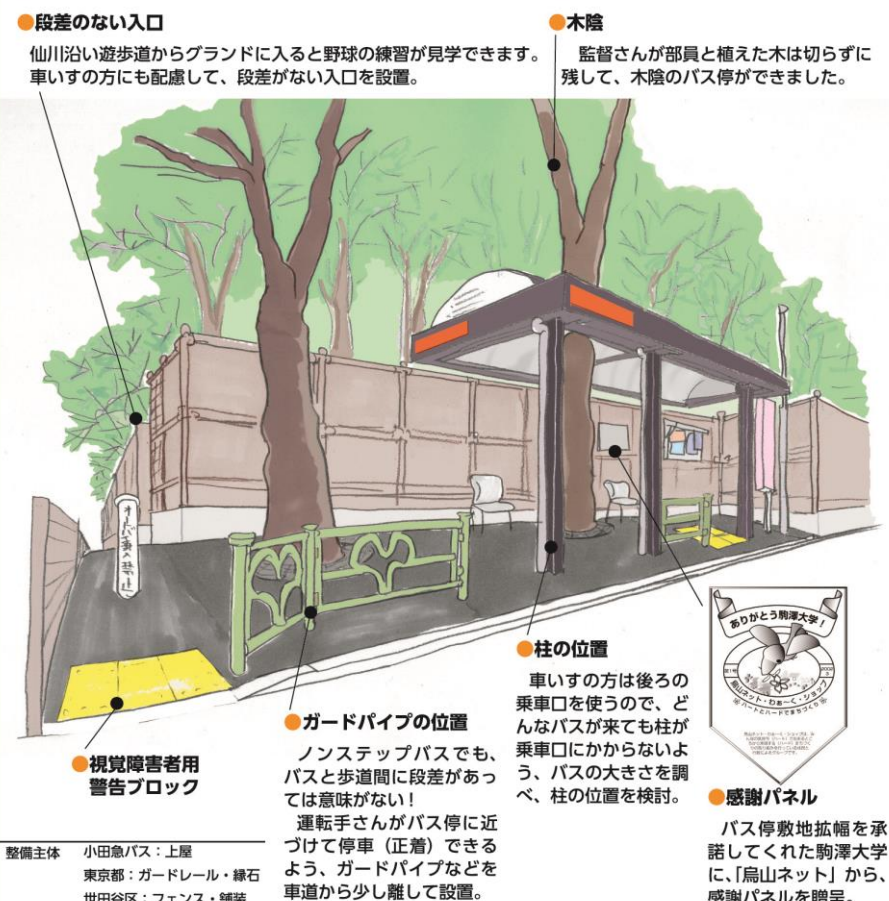
■ネットワーク



駒澤大学グランドバス停が、生まれ変わる！

■きっかけ

ある日、「バス利用で困っている」と車いす使用者から発言がありました。
ノンステップバスが通っているにもかかわらず、バス停に段差があるので、近くのコンビニ駐車場で乗り降りできるようお願いして利用しているとのこと。
そこで、駒澤大学野球部を支援している地元の方の協力で、バス停の土地所有者である駒澤大学との相談が可能になりました。その後、小田急バス・東京バスとも一緒に、バリアフリーのバス停整備に向けて話し合いが進みました。



■ネットワーク



地下道を安全に通りたい【H17】

■きっかけ

千歳鳥山駅の西側に地下道があります。うす暗く、自転車に乗ったまま通る人もいて、危ないと感じている人が多い場所でした。
そこで、区から京王電鉄に声をかけてもらい、設計段階から《区民》《事業者》の三者で意見交換をしました。
「ぶつからないよう、道路を一方通行にしては」「カーブミラーをつけたら、曲がり角の向こうが見えるよね」などのアイデアが出されました。

■ネットワーク



【20周年冊子】



▲
活動の内容は
こちらからも
ご覧いただけます

UD スタンプラリー体験隊！

■きっかけ

鳥山ネットでは、先行整備地区を毎年設定しまち歩きと整備計画の策定を行ってきました。駅周辺の整備計画がひととおり終わったところで、検証ワークショップを行いました。
区民から「子どもから、ユニバーサルデザイン（UD）を広げたい」との意見が出て、小学生向けのイベントをやってみようということになりました。
2005 年に第 1 回目を開催、現在まで 18 回開催しています。



バス停のその後【R5】

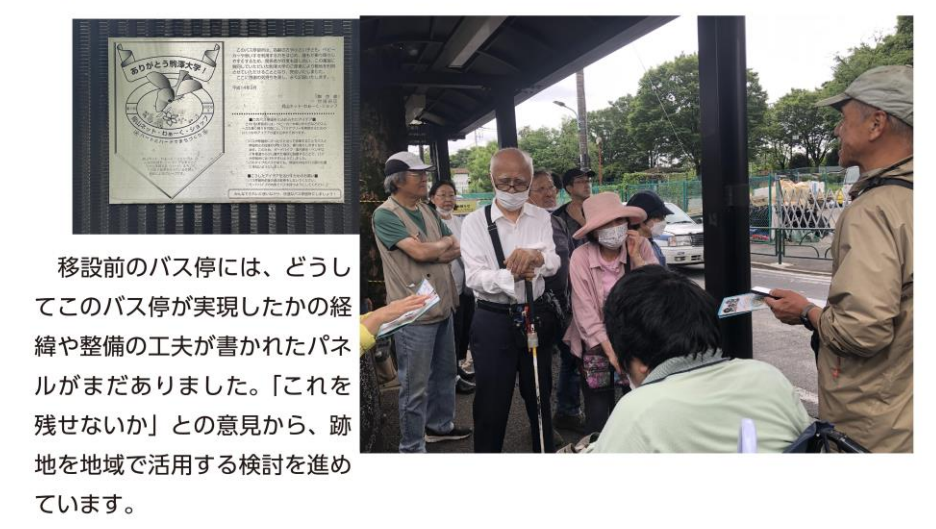
■きっかけ

バス停のすぐ北側に都市計画道路 54 号線の計画があり、2023 年度に 15m 幅の道路が開通しました。それに伴いバスルートが変更され、バス停も移設されました。
元のバス停はこれから地域の拠点として活用できないか、検討しています。

●移設後のバス停



●移設前のバス停

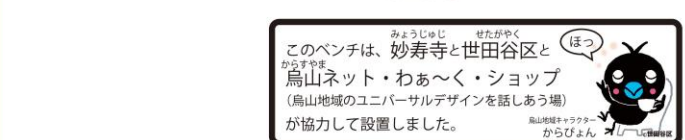


ひろがれ！ベンチプロジェクト【R2~5】

■きっかけ

世田谷区では、多くの人が安心してまちを移動することができることをめざし、ユニバーサルデザインの観点から、まち中にベンチを設置することを支援しています。
商店、商店街、社会福祉法人等、個人住宅ではない民間敷地での設置が対象です。
鳥山ネット・わあ〜く・ショップでは、寺町や子ども食堂を営んでいる場所での設置に取り組みしました。

●寺町



●子ども食堂／めくめくの家



これからの、すすむ道

- ユニバーサルデザインスンプラリーの開催継続
- 駒大グランド前バス停跡地利用の推進
- ベンチプロジェクトの益々の推進
- ユニバーサルデザイン情報の発信
- 変わりゆく駅前の住みよいまちづくりの推進

誰でも
参加できます

毎月第3土曜日午後1時30分から、
鳥山総合支所の会議室で開催しています。
事前申込は不要です。
お気軽にお越しください。

スクラムからすやま

スクラムからすやまの概要

設立 平成15年に地域通貨の実証実験がきっかけで生まれたボランティア団体です。

活動 **毎月第一日曜日、午前9時から**千歳烏山駅を中心に清掃活動を行っています。
平成17年から商店街歩道上の20基のフラワーポットに花の植え替えも行っています。

参加 コアメンバー以外は固定メンバーを決めずに、
誰でも自由に参加してもらえる形になっています。



当日の受付



参加者有志での記念写真

活動・取組みの内容



清掃活動風景

花の植え替え風景



参加大歓迎 あなたも活動しませんか？

街がきれいになると、とても気持ちが良くなり一日がハッピーになれます。
お花の植え替えも楽しい活動です。興味のある方は少しの作業時間ですので
お誘い合わせてぜひご参加ください。清掃用具等は全て準備してあります。
活動しやすい服装で、朝9時に区民センター広場にお越し下さい。

あかあを咲かせよう！
特別企画
3月2日（日）の活動では、
特別企画 FC東京×スクラムからすやま
「まち花プロジェクト」を開催します。
3/2(日)午後1時
烏山区民センター広場
予約不要

参加された方には
記念缶バッジプレゼント！
気軽にご参加ください。

千歳烏山駅前広場南側地区市街地再開発準備組合

設立趣旨・経緯

京王線連立事業や駅前広場整備事業などにより街が大きく変化することを踏まえ、2015年から駅前広場南側地区におけるまちづくりの検討等を行ってきました。その中で、**権利者が主体となった地域課題の解決に向けた魅力的な駅前の実現や、権利者の営業・居住を継続することなどができる**手法として、市街地再開発事業を活用したまちづくりの検討を重ね、2022年12月に市街地再開発準備組合を設立いたしました。現在は、2026年度の都市計画決定を目指して取組みを進めています。

2015年

まちづくり勉強会 設立

2019年

駅前広場を含む再開発の検討開始

駅前広場と再開発事業は一体で整備すべきものとして、区に提案

2020年

まちづくり準備会 設立

権利者が主体的となり、再開発事業を活用したまちづくりの検討を開始

2022年

再開発準備組合設立

準備会で検討した「再開発事業を活用したまちづくりの基本的な考え方」の実現に向け、より検討を深める場として設立



活動・取組みの内容

<まちづくりの方針>

「駅前周辺の取組と連携したまちづくり」

- ① 駅前で安全に乗換できる駅前広場を整備
- ② 歩きやすい歩行者空間整備に向けて建物壁面を後退
- ③ 駅前で滞留空間や緑化を推進する空地等を整備
- ④ 敷地内にゆとり空間を整備
- ⑤ 建物の耐震化や不燃化による防災性向上
- ⑥ 駅前広場や敷地内を活用した防災スペース等を検討

①駅前広場の整備 ⑥防災スペース

千歳烏山駅 駅前広場 駅前通り 駅前広場に面した通り

通りに面した店舗配置 高層部:住宅等 低層部:商業・業務等 地下:商業・駐車場等

②建物壁面の後退 ③広場や緑化等の整備

壁面後退 ④敷地内のゆとり空間整備

道路 敷地 ⑤建物の耐震化や不燃化による防災性向上



駅前広場と一体的な空間を形成し、駅からの人の流れを敷地内に誘導

千歳烏山駅 駅前広場 駅前通り 駅前広場に面した通り

店舗と一体となったにぎわい空間

店舗の賑わいを外部空間にもしみ出し

駅前の顔づくり

住宅への動線

住宅 エントランス

駅周辺歩行者が安全に歩ける歩行者空間

車両 出入り口

計画案の考え方(動線)

計画案の考え方(用途構成)

建物高さ: 約140m

高層棟: 住宅(4~34F)

低層部: 商業等(広場) B1~3F

低層部: 駐車場、機械室 B2~3F

駐車台数
商業: 約120台
住宅: 約200台

千歳烏山商店街連合会街づくり委員会

概要

千歳烏山商店街連合会では、京王線の高架化事業や駅前広場整備事業等により、街が大きく変わる機会を捉え、行政と連携しながらまちづくりに取り組むため、「街づくり委員会」を設置し、2022年4月に地区の特性を踏まえた目指すまちの姿を「ちとから・まちづくりデザイン」として、取りまとめました。

目標の実現に向け、2022年12月に「活力部会」及び「安全・安心部会」を立ち上げ、今年度は自転車マナー啓発活動や商店街の情報発信に関するアンケートを実施しました。

今後も、具体的な方策を検討しながら、街づくりの取り組みを進めていきます。



自転車マナー啓発イベントの様子



情報発信に関するアンケートの取組み



下北沢駅周辺地区 視察

活動・取組みの内容

2019年

商店街連合会 発足
街づくり委員会 設置

2020年
10月

消費者懇談会

2021年
5月

京王電鉄と情報交換

9月

方針・戦略部会による検討開始

2022年
4月

「ちとから・まちづくりデザイン」(案)作成 等
「ちとから・まちづくりデザイン」取りまとめ
ありたいまちの姿とその実現に向けた
具体的な取組事例を掲載

6月

京王電鉄・金融機関等と意見交換

12月

活力部会/安全・安心部会 立上げ
消費者懇談会

2023年
3月

下高井戸駅周辺地区 視察

11月

まち歩きワークショップ

2024年
6月

下北沢駅周辺地区 視察

11月

安全・安心部会自転車マナー啓発イベント実施

12月

活力部会 情報発信に関するアンケート実施

ちとから・まちづくりデザイン

千歳烏山商店街連合会
街づくり委員会

◆ちとから・まちづくりデザインの目的

千歳烏山駅周辺は京王線連続立体交差事業や駅前広場整備事業等により、まちが大きく変わろうとする機会を捉えて、2021年(令和3年)6月に地区計画が策定され、同時に用途地域等の変更がなされました。
一方、駅周辺の5商店街で構成する商店街連合会では、街づくり委員会を置き、地区の特性を踏まえた目指すまちの姿を「ちとから・まちづくりデザイン」として、取りまとめました。今後は、このまちづくりデザインをもとに、行政や様々な主体と連携しながら「住む人にとって、商売を営む人にとって、まちを訪れる人」にとって安心して過ごせる魅力ある駅周辺のまちづくりに取り組んでいきます。

◆地区の現状

千歳烏山駅周辺地区は、2021年にかけて人口は増加しており、年齢男女別人口では特に女性の増加が顕著となっています。また、世帯構成の傾向として駅前周辺は単身者の増加、広域圏ではマンションなどの開発に伴いファミリー世帯が増加しています。
一方で近年の駅前周辺の小売業の売場面積及び年間販売額は、大幅に減少しています。
現状分析から、子育てや高齢者など様々な世代にあわせた新たな取り組みが必要と考えます。

■年齢男女別人口(千歳烏山2-4-6丁目、世帯数17戸)

性別	2017	2018	2019	2020	2021
男性	1,000	1,050	1,100	1,150	1,200
女性	1,200	1,250	1,300	1,350	1,400

■地元の声

・駅周辺は人が多く、活気がある
・楽しく買い物ができる回遊性のある商店街がほしい
・歩道に駐輪を整理し、歩きやすくしてほしい
・ベビーカーでも買い物しやすいしてほしい
・くつろぎ空間や休憩スペースがあると良い
・話題のお店やおしゃれなお店がほしい
・子供とゆっくりできる飲食店がほしい
・駅周辺に駐車場がほしい

◆まちづくりの取組みイメージ

千歳烏山駅周辺のまちづくり

【世田谷区】
個別のまちづくり計画等
◆千歳烏山駅周辺地区地区計画
◆千歳烏山駅周辺地区地区計画

【商店街】
ちとから・まちづくり
デザイン

【住民】
【町会・自治会】
【事業者】
【NPO等】
世田谷区と連携しながら、
地元住民、町会・自治会、事業者、
NPO団体等、様々な主体と一緒
にまちづくりに取り組んでいます。

ありたいまちの姿

居心地の良い活気に満ちたまち『ちとせからすやま』
住む人 商売を営む人 まちを訪れる人
誰もが 安心して 過ごせる 魅力あるまち

◆まちづくりの方針

方針1
歩いて楽しく、ゆたいたび過ごせるまち

戦略1
・歩いて楽しくプラプラ回遊したくなるまちづくり
・安心して歩ける歩道の魅力ある街並みづくり
・誰もが利用できるゆたいたび過ごせる空間づくり
・ユニバーサルデザインのやさしいまちづくり

アクションプラン(視点)
市街の歩きやすい回遊性に関する歩行者空間整備 / 道路空間の広域化、オープンスペース(ウォークアップ) / 高層ビル利用の促進 / 交通機関の利便性 / 地域活性化 / ユニバーサルデザイン(段差解消、サイン計画等)

方針2
にぎわい、憩う魅力的なまち

戦略2
・駅周辺の商店街が連携したにぎわいづくり
・自転車と共存した魅力ある商店街づくり
・ちょっとした憩いの場、遊び場のある街
・魅力的な店舗や商店街センター広場を活用したにぎわいづくり
・情報発信によるまちの魅力向上

アクションプラン(視点)
イベント開催(マルシェ等) / 商店街回廊の活性化 / 郊外販路の開拓 / コンシェルジュサービス/ベンチの設置 / 自転車や歩行者空間のルール作り、本職業者とタイアップ / 情報発信(マップ作成、SNSの活用等)

方針3
多様なライフスタイルに合わせた安全安心なまち

戦略3
・商店街や地域の人が変えあうまちづくり
・多様なライフスタイルに適した環境づくり
・ふれあい、交流のあるまちづくり
・周辺の観光資源を活用したまちの魅力の向上
・災害に強く、安全に過ごせる空間づくり

アクションプラン(視点)
地域コミュニティの活性化 / 学生との連携 / 地産地消 / 食料ロスの削減 / 多様なライフスタイルを支える環境の充実(保育、福祉等) / 建物の耐震化 / 避難場所の確保

◆今後の取組みに向けて

街づくり委員会では、千歳烏山の特性を活かしながら「ちとから・まちづくりデザイン」の実現に向けて具体的な活動を行うため、まちづくりの方針で示したアクションプランの視点を踏まえて活動の計画を検討し、安全で活気ある魅力的な次世代に繋げる取り組みを行っていきます。

◆活動フロー

ちとから・まちづくりデザインで示すアクションプランの項目を踏まえて、商店街で実施する活動計画を検討する
商店街で実施するアクションプランの項目を踏まえて、商店街で実施する活動計画を検討する(委員会・各部会)

ちとから・まちづくりデザイン(2022年4月)

ちとから まちづくりフォーラム
Urban Development Forum 2025 In Chitose Karasu yama

一般社団法人
ななつのこ
団体概要

【ビジョン】

ソーシャルキャピタルが培われるまち烏山



【活動の柱】

- 1、地域の誰もが自分らしく共に生きられる場づくり・つながりづくりとエンパワメント
- 2、地域の暮らし手が市民として自ら地域の担い手となる自発的・公益的な活動の支援
- 3、地域自治に向けた多主体連携のパートナーシップやプラットフォームの構築

【沿革】

2020年：烏山に在住・在勤している各分野の活動者や専門家が集まって、法人を設立
2022年：「コミュニティカフェななつのこ」の運営を引き継ぐ（地域主体の運営）
2023年：世田谷区からの委託で北烏山での住民参加の公園づくりを担い始める。

地域での場づくりや、地域主体で事業や活動を担うプラットフォームづくりを通して、市民参画やつながりの創出、重層的な関係性や主体の形成を進め、地域自治の仕組みや制度をつくっていきます。

活動・取組みの内容

【主な事業】

1、多世代交流拠点「コミュニティカフェななつのこ」の運営（南烏山）



子どもからシニアまで年間で2万人以上の方が利用
“多様な色に染まる場・地域の人々が主役となる場”

2、北烏山での住民協働によるみどりの拠点づくり



（仮称）北烏山七丁目緑地



北烏山五丁目広場

《さまざまな住民・地域団体》
《各分野の専門家》《行政》
をつなぐハブとなる。

3、地域でのプロジェクトへの協力・支援・コーディネート

- コーシャハイム千歳烏山内の連携
防災イベントやハロウィンの実施、日替わり福祉活動による支え合い
- 烏山地区アクションチーム（認知症になっても、誰もが自分らしく希望を持って暮らすことのできる地域共生社会づくり）
- 小学生と若者による学習支援・居場所づくり
- 高校生と地域をつなぐフィールドワーク
- 北烏山でのマルシェ開催

概要

からすやまの街の活性化のために、地域住民、地元商店街、各団体が連携した事業を行うために設立した非営利型株式会社。当初は、駅前駐輪問題解決を活動の柱の1つとしていましたが、現在は烏山地域キャラクター「からびょん」活用で地域が元気になる活動をしています。



活動・取組みの内容

●グッズ制作販売

- ・Tシャツ
- ・てぬぐい
- ・ふせん
- ・缶バッジなど



グッズ取扱店



●芦花まつりへのブース出展 ※塗り絵コーナー実施



●イベント時のからびょん活用 による賑わいづくり

